

## どうしたら祈れるのか

とりなしの祈り⑥

イザヤ書40:31

ルカ10:39～42

「とりなしの祈り」の力や効果を学んできた私たちですが、実際に祈ろうとすると感じるのは、妨げです。祈ろうとすると必ず、他の事を思いつき、祈りを後回しにしたくなります。また神様に祈り始めると、別のことが浮かんできて集中できません。何故なのでしょう？ それはサタン・悪魔の存在があるからです。

この世を支配するサタンは、世の思いを私たちの心に簡単に入れて来ます。さらに私たちの肉の思いを利用します。肉の思いとは、神の力に頼り、神様の思い通りするより、自分の力、自分の考えを優先し、自分の思い通り事を成し遂げたいという思いです。

サタンは人の思い、人の弱さを利用します。祈るなら、神の力と神の方法を教えてください。それを阻止し、気付かせないように仕向けます。

しかし、私たちの助け主であるご聖霊は、信仰によりイエス・キリストの名を用いて祈るように導いてくださいます。キリストにすべてを開け渡し、ゆだね、従うとき、私たちは祈りを通して、超偉大なキリストがサタンの闇の力を簡単に破り、破壊し、神のみわざを確実に成されることを、実際に体験させて頂けるのです。

## 聖書の学び

### I、祈りは、礼拝から始まる

1、礼拝により主を待ち望み、そこで力を頂くことができます。

「主を待ち望む」→ ①黙って静かに信頼しながら待つ (詩篇62:1～2)

②主と共に一緒にいることを望むこと (詩篇33:20)

③喜び楽しみ、期待して待つ、結合 (詩篇27:14)

2、主を待ち望むとき、私たちは力を受けます。(イザヤ40:31)

①主を待ち望むとき、必ず、神様は力を与えてくださいます。

②神様と心が一つになるとき、鷲のように、祈りの翼を頂くことができます。

### 3、礼拝から始まる祈りは、主と共に時間を過ごすことです。

(ルカ10:39~42)

①マルタは・・・もてなしのために、「心が落ち着き」ませんでした。(ルカ10:40)

「心が落ち着かない」→ギリシャ語では「ぐるぐる同じ場所を巡る」の意味

主の大事な奉仕であっても、主と共に過ごす時間がなくなるなら、堂々巡りの奉仕しかできません。

②マリヤはその「良い方」を選んだのです (ルカ10:42)  
アガソス

ギリシャ語では  
「良い方」→2種類

【	カロス	=見栄えはいいが、価値はあまりない
	アガソス	=良い状態が続く、有益である

\*主の臨在の中で「とりなしの祈り」のための力を頂かなければなりません。

## Ⅱ、神の計画を妨げる肉の思い (Iサムエル13:8~14)

1、イスラエルの最初の王サウルは、7日間待った後、サムエルがささげ物をしてから敵を攻撃するように命じられました。

サウル王はどのようにしましたか？(Iサムエル13:9)

2、サウル王の失敗の原因は何なののでしょうか？(Iサムエル13:13)

## Ⅲ、隠された神の計画を知る

1、ヨシュアは城塞都市エリコを前にして、神の前に祈り、どのように礼拝しましたか。(ヨシュア記5:15)

①顔を地面に付け、伏し拝んだ (ヨシュア記5:14)

②靴を脱ぐ (ヨシュア記5:15)

2、ヨシュアに教えられた神様の条件・方法・タイミングはどのようなものでしたか？(ヨシュア記6:3~5)